



たなか あんず
田中 杏実ちゃん (井田)

平成30年6月21日生まれ
一生さん&美和さんの次女

お散歩好きのあんずです。お散歩中はお花を摘んでプレゼントしたり、ダンゴムシを捕まえては得意気に見せてくれます。犬や猫を発見すると大興奮！元気でのびのび育ってね♡…お母さんから



やました りょうじ
山下 凌司ちゃん (井田)

平成30年6月18日生まれ
幸佑さん&朋美さんの長男

いつも元気な凌司です。家でも保育所でも甘えん坊。よく笑わせてくれてムードメーカーです。お手伝いもたくさんしてくれて大助かり！お姉ちゃんと妹と仲よく元気に育ってね♡…お母さんから



たけはな しおり
竹鼻 菜ちゃん (鵜殿)

平成30年6月19日生まれ
康さん&亜紀さんの次女

いつもやんちゃで、おてんばな菜ちゃん。いたずらをたくらんでいるときのニヤリと笑う顔がたまらなくかわいいです。これからも家族みんなで仲よく暮らしていこうね♪…お父さんから

【募集】満3歳の誕生日を迎える子ども(平成30年8・9月生まれ)を募集します。ご希望の方は、広報係(☎33-0334)までご連絡ください。申込期限は6月30日(水)まで。

地元に戻ってきた意味

宇城 真由美さん(井田)



私は、紀宝町で生まれ、高校を卒業してから県内の大学へ進学しました。大学では、日本語教育学を専攻しました。その後、就職を機に紀宝町に帰ってきました。現在の仕事では広報業務に携わっているのですが、大学で学んだことを活

かせているのかもしれない。地元で就職をしようと思っただけは、小さいころから大事に世話をしてくれた祖父母とあまり体の強くない父、よく働く母を支えたいと思ったから、その気持ちが強くなったのは、

PROFILE

うしろ まゆみ さん

昨年、地元に戻ってきた意味を考えさせられた宇城さん。「これからもまわりの人を大切にしながら日々を過ごしていきたいです」と話していました。



宇城さんの初作品

も叶わずにきつと後悔していただろうと思います。

新型コロナウイルス感染症の流行前は、毎月のように学生時代の友人に会うため東京や大阪などの都会に行っていました。今は仕事ばかりの日々です。

唯一の楽しみは、3月の終わりから通っている陶芸教室です。まだ数回しか行けていませんが、初作品が焼き上がった時には辛口の先生や先輩方にも褒めていただきうれしかったです。

これからも、ふるさとやまわりの人を大切に楽しく過ごしていきたいです。

7月号は桐原の高橋喜子さんです。宇城さんからは、「いつもすてきな高橋さん。これからもよろしく願っています。」

平成23年9月に紀伊半島を襲った台風12号でした。当時、紀宝町には、両親と高校生の妹、祖父母が暮らしていました。私は大学の夏休みで、断水していた紀宝町に持ってくるだけの飲料水を持って帰省したことを覚えており、家族の近くにいる何かついたという気持ちが大きくなり、地元に戻ってきました。そして昨年、帰ってきた意味を考えさせられることがありました。新型コロナウイルス感染症が猛威を振るっていた昨年の5月、祖父母がそろって天国へ旅立ちました。入院していた病院も面会制限があったり、お葬式などの集まりも縮小したりするなか、6人いる孫のうち県内に住んでいる3人で最期までしっかり見送ることができました。もし、紀宝町に戻っていなければそれ

お客様をもっと喜ばせたい!!

たけはな
竹鼻 咲彩 さん(神内・22歳)

◆旅に行くことについて

今はコロナ禍で行けませんが、行くとしたら、親友と沖縄に行きたいです。専門学校のとときの友達にも会いに行きたいので、早く落ち着いてほしいです。

◆今の目標は??

アパレルスタッフとして成長し、1人でも多くのお客様に喜んでもらえるようになりたいです。

◆町について

地域の人がやさしく、自然豊かなところが好きです。これからもそんなステキな町であり続けてほしいですね。

◆お仕事は??

イオン新宮店のウッディハウスでアパレルスタッフとして働いています。とてもアットホームな雰囲気職場で、オシャレをすることも好きなので、毎日楽しいです。お客様が「この服かわいー」「や「ありがとう」と喜んでもらえるとうれしくて、もっとがんばろうという気持ちになりますね。

◆チャレンジしたいこと

釣りやキャンプなど、アウトドアに挑戦してみたいです。コロナ禍が落ち着いたら、みんなでパーベキューもしたいですね!

